

# 境港、西伯で震度4

震源地は鳥根東部 JRなど徐行運転

三日午後四時三十三分、鳥根東部(鳥根、安来、山(鳥根)安来、山(鳥根)安来、山(鳥根)安来)を中心に中国、近畿地方で地震があり、鳥根東部の境港と鳥根東部の伯太などで震度4を記録した。大阪府泉佐野市で震度4を記録した。大阪府泉佐野市で震度4を記録した。大阪府泉佐野市で震度4を記録した。

## 20分後に震度3

三日午後四時五十分、鳥根東部(鳥根、安来、山(鳥根)安来、山(鳥根)安来、山(鳥根)安来)を中心に中国、近畿地方で地震があり、鳥根東部の境港と鳥根東部の伯太などで震度3を記録した。大阪府泉佐野市で震度3を記録した。大阪府泉佐野市で震度3を記録した。

## 県復興本部に緊張感

職員ら私服で情報収集

境港市や西伯町で十日、十一日に災害対策本部が立ち上がり、復興本部に緊張感が高まっている。職員らは私服で現場へ入り、被災者の声を聞き、復興本部に緊張感が高まっている。

(11月4日 日本海新聞抜粋)

(11月4日 日経新聞抜粋)

# 冬間近、復興へ向け着々

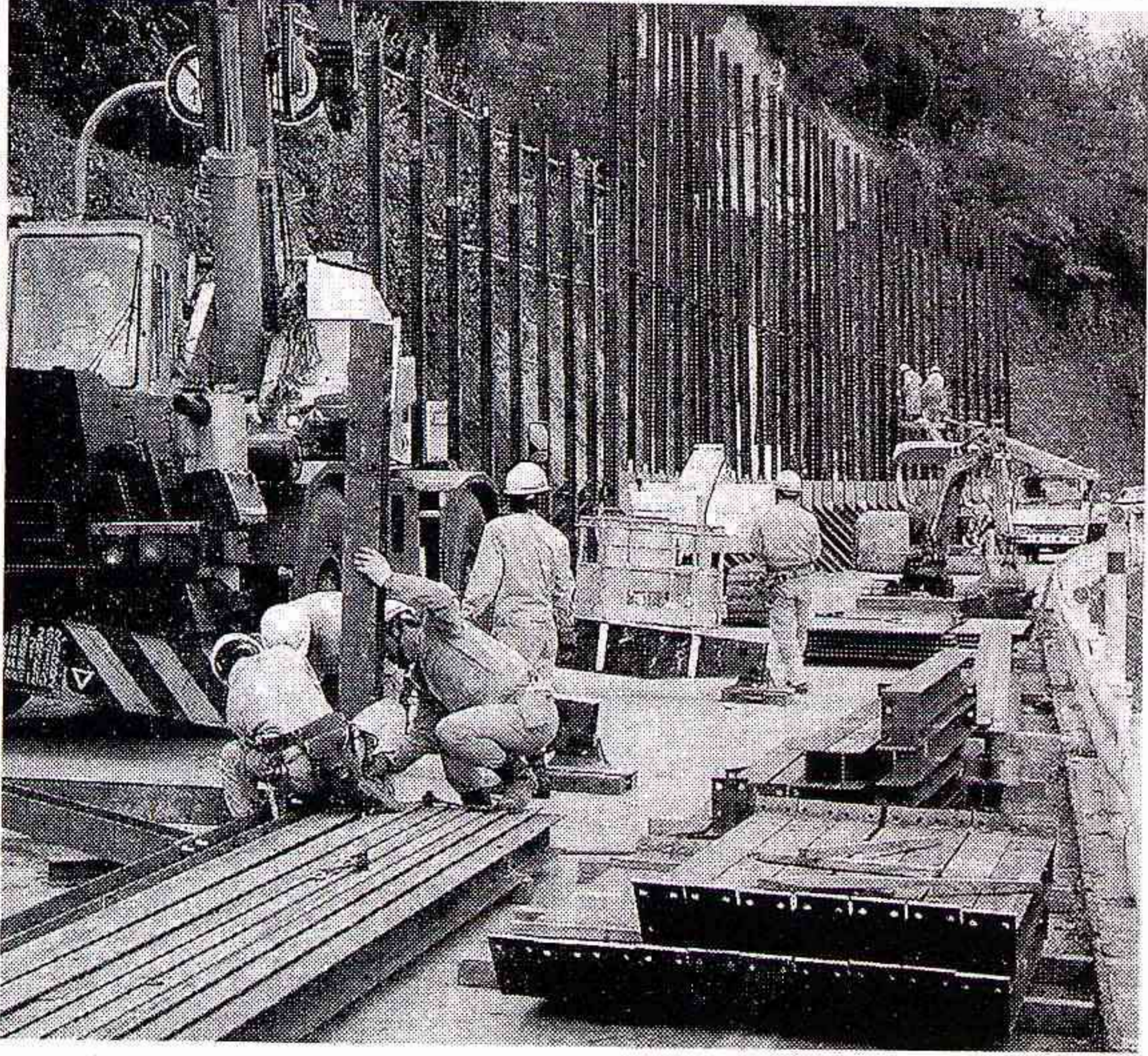
## 鳥取県西部地震から1カ月

鳥取県西部地震の発生から、六日で丸一カ月を迎える。阪神大震災を上回るマグニチュード(M)7.3を記録した大地震は、死者こそ出なかったものの負傷者約百人、損壊家屋四千七百棟以上の被害をもたらした。震度6強を記録した日野町では依然として十人が避難生活を強いられているほか、二十三世帯が仮設住宅で生活。冬を前に不安

を背負いながらの生活が続いている。一方、道路や公共施設の復旧工事は着々と進んでおり、被災地の住民たちは震災のショックから徐々に立ち直り、復興に前向きな声や笑顔も出始めた。県も被災者の住宅再建を最優先課題と位置付け、全国で初めて公的資金の投入を決めるなど積極的な支援を展開している。(18、19面に関連記事)

四日午後五時現在で避難生活を送っているのは日野町の十人。ピーク時には九市町村で二千六百人を超えていたが、余震の減少や県営・市営住宅などへの入居でここまで減少した。

鳥取県災害復興本部によると、二日午後四時現在の被害状況は、負傷者九十七人、全半壊家屋が千五百九十五棟、屋根や瓦などの一部損壊が三千八十七棟で、合わせて四千六百八十二棟となっている。道路など土木施設の被害は二百二十二億三千二百万円、農林水産関係の被害は百六億九千九百九十九万九千九百九十九円、合わせて約三百四十億円の被害が出ている。道路は依然として七路線十カ所が全面通行止め、十五路線二十三カ所が片側通行となっている。河川、港湾、ダム関係



仮設の防護柵を設置し、復旧を急ぐ国道180号＝鳥取県日野町本郷

(11月6日 日本海新聞抜粋)

## きょうから

### 生山発着に

「JRサンライズ出雲」  
JR米子支社は、伯備線・生山―根雨間のバス代替に伴い、岡山発着としていた上りの寝台特急「サンライズ出雲」(出雲市―東京)を七日から、

生山発に切り替える。上りの「サンライズ出雲」はこれまで、臨時列車「サンライズリレー号」で根雨まで運転し、代替バス経由で生山から再び「リレー号」に乗り換え、岡山で「サンライズ出雲」に乗り換えていた。「サンライズ出雲」を生山発から特急「やくも1号」を利用する。

(11月7日 日本海新聞抜粋)

# 「震度5」で3本運休

JR木次線の地震計 300人の足に影響

七日午前六時五十三分ごろ、県東部を震源とする地震があった。JR西日本米子支社によると、横田町のJR木次線出雲横田駅に設置されている震度計が震度5を記録したため、列車を止めて線路を点検した。この影響で普通列車三本が運休、午前九時

五十六分に運転を再開したが、六時三十二分前後に落合松江行き普通列車が約三時間二十分遅れるなど、約三百人の足が乱れた。松江地方気象台によると、仁多町三成では震度2、科学技術庁防災科学技術研究所の震度計では横田町で震度3、仁多町で震度2だった。

(11月8日 朝日新聞抜粋)



## 横田駅で震度5記録 木次線一時ストップ

実際は震度2

七日午前六時五十三分ごろ、県東部を震源とするマグニチュード(M)3.4の地震があり、仁多郡仁多町で震度2を記録した。この地震で、JR西日本米子支社は、仁多郡横田町の出雲横田駅の震度計が震度5を記録したため、木次線の一部区間で運転を一時見合

わせた。木次―油木駅間で午前六時五十五分から約三時間、点検のため普通列車三本を運休。点検後に徐行運転し、普通列車二本が最大で三時間二十分遅れた。JR米子支社は「震度計が震度5を記録したのは故障ではなく、地盤などの影響だ」と話している。

(11月8日 中国新聞抜粋)

## 「サンライズ出雲」

生山駅から乗車可能  
伯備線のダイヤ調整

JR米子支社は七日から、伯備線の一部区間の土砂崩れの影響で、岡山駅からの乗車としていた寝台特急「サンライズ出雲」の乗車を生山駅に繰り上げる。

サンライズ出雲は、出雲―根雨間を臨時列車「サンライズリレー号」、根雨―生山間を代替バス、生山―岡山間を臨時列車に振り替えていた。ダイヤ調整で生山からの乗車が可能になった。

(11月7日 山陰中央新報抜粋)

## 地震で列車の 運転見合わせ

JR、木次―油木間

七日午前六時五十五分ごろ、鳥取県横田町のJR木次線出雲横田駅に設置された地震計が震度5を記録したため、JR米子支社は木次―油木間で約三時間、列車の運転を見合わせた。

普通列車三本が運休したほか、二本が遅れ、約三百人に影響があった。

(11月8日 日本海新聞抜粋)

## 余震でダイヤ乱れる

仁多で震度2

七日午前六時五十三分、鳥取県東部を震源とする地震(M)3.4があり、仁多町で震度2を観測した。この影響でJR木次線の普通列車三本が運休、二本に三時間二十分―一時間半の遅れが出た。

JR米子支社によると、JR出雲横田駅(同県横田町横田)に設置した震度計(地震加速度計)で、加速度が線路点検の基準になる「5」を記録。点検のため、木次―油木(広島県西城町)間で運行を見合わせ、同日午前九時五十六分に運転を再開した。

(11月8日 山陰中央新報抜粋)

# JRニュースファイル

「やくも」・「サンライズ出雲」はご利用いただけます

JR米子支社

JR伯備線は、地震などに伴う土砂崩壊のため、一部区間でバス代替運行を行っております。

崩壊した土砂の撤去に加え、安全を期するための周辺工事を行っており、復旧までに、まだ日数を要する見込みです。

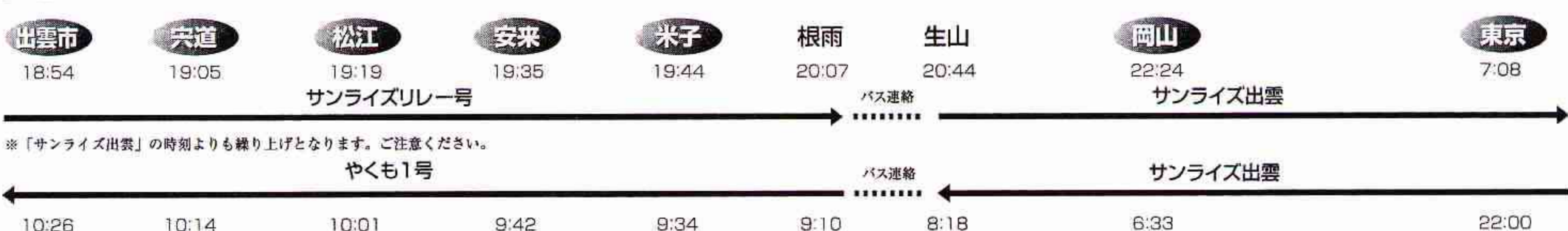
なお、特急「スーパーやくも・やくも号」、寝台特急「サンライズ出雲」とも全区間でご利用いただけます。お客様には大変ご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。

### ＜伯備線は次のとおり運転しています＞

① 特急「スーパーやくも・やくも号」はバス代替も含めて、出雲市～岡山間をご利用いただけます。岡山では新幹線(のぞみ・ひかり)に接続したダイヤにしています。



② 寝台特急「サンライズ出雲」は、「サンライズリレー号」とバス代替も含め、出雲市～東京間をご利用いただけます。



③ 通勤・通学列車についても、一部区間をバス代替で運転しています。

※なお、その他線区の列車については、通常通り運転しております。詳細につきましては、駅等でお問合せください。

(11月8日 山陰中央新報抜粋)

# 震災復興への弾みに

## 根雨—生山間 伯備線、17日開通へ

先月28日に起きた土砂崩れで不通になっていたJR伯備線根雨—生山間が、17

日には開通の見込みになった。代行バスの乗り継ぎなど米子—岡山間は通常より1時間余分にかかっていただけに、利用客やJR関係者もほっとした表情だ。

ため、1日からボーリング調査し、2ルートの仮設道路を設けて樹木を伐採。土砂の撤去を続け、応急措置として線路と山の斜面の間に長さ90メートル、高さ6メートルの土止め柵を設置した。撤去土砂量は1万6000立方メートルになるという。

(11月14日 毎日新聞抜粋)

## 伯備線全面運転再開は17日めど

### JR、日野の土砂崩れ

JR西日本米子支社は十三日、日野町での土砂崩れで一部区間が不通となっていたJR伯備線の復旧について、十七日をめどに全線で運転再開できる見込みになったと発表した。

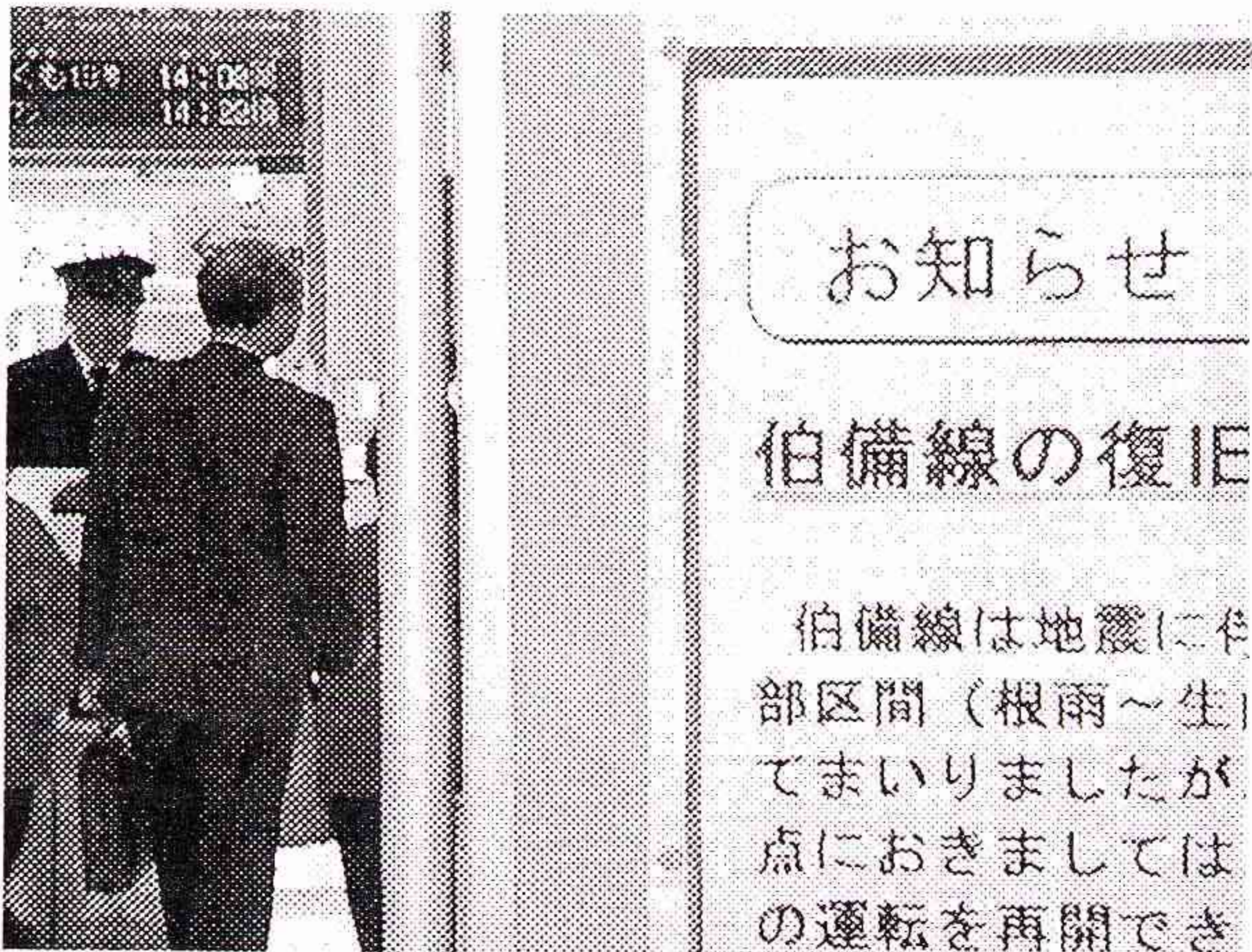
土砂崩れは先月二十八日に発生、根雨—生山間でバスが代替運行している。

(11月14日 朝日新聞抜粋)

## 伯備線、17日全面運転へ

JR西日本米子支社は十三日、鳥取県日野町での土砂崩れで一部区間が不通となっていたJR伯備線の復旧について、十七日をめどに全線で運転再開できる見込みになったと発表した。

(11月14日 朝日新聞抜粋)



伯備線の復旧見込みを知らせる張り紙—米子駅で

伯備線は地震に伴って生山—根雨間（根雨—生山間）が不通となり、米子—岡山間は通常より1時間余分にかかっていた。利用客やJR関係者もほっとした表情だ。

土砂崩れが起きたのは根雨—黒坂間のJR所有の山。当初の流出土砂は200立方メートルで、JR米子支社は今日一日の開通を見込んでいた。しかし、その後の調査で、山の上部に約30メートルわたって亀裂が見つかった。亀裂の全体調査をする

【原田 勉】

## 17日に復旧へ

### JR伯備線 生山—根雨間

鳥取県西部地震に伴う土砂崩れのため、一部区間がバス代替運転となっているJR伯備線が十七日、復旧する見通しとなった。これにより、特急「スーパーやくも」「やくも」、寝台特急「サンライズ出雲」は、全区間で直通運転される。土砂崩れは先月二十八

(11月14日 日本海新聞抜粋)

### JR伯備線の不通区間 17日にも復旧

JR伯備線で不通区間となっている生山—根雨間の復旧見通しについて、JR米子支社は十三日、「復旧作業は十七日も完了し、全線で運行が再開できる」と発表した。

(11月14日)

山陰中央新報抜粋

地震によるがけ崩れで、先月二十八日から不通になっていたJR伯備線根雨（同県日野町）—生山間（同県日南町）は復旧作業がほぼ終わり、JR西日本米子支社は十三日、十七日も運転再開すると発表した。

(11月14日 読売新聞抜粋)

JR伯備線17日復旧 JR西日本は13日、鳥取県西部地震の余震などに伴う土砂崩れで、先月28日から不通になっていた伯備線根雨—生山間が、17日には復旧する見通しとなったと発表した。

(11月14日 毎日新聞抜粋)

【原田 勉】

# 復旧はあす 始発から

JR 伯備線

JR米子支社によると、鳥取県西部地震に伴う土砂崩れで一部区間がバス代替運行となっていた伯備線は、十七日の始発列車から全線で運転を再開する見込みとなった。

土砂崩れは先月二十八日、日野町の根妻トンネル付近で発生。同社は線路内に流入した土砂を撤去する一方、生山―根雨間をバスで代替運転している。

(11月16日 日本海新聞抜粋)

# 17日全線開通

JR 伯備線

JR米子支社は15日、県西部地震の余震などによる土砂崩れで根雨―生山間が不通になっている伯備線について、17日始発から全線開通の見込みと発表した。全線開通は、先月28日の事故発生以来20日ぶり。

【原田 勉】

(11月16日 毎日新聞抜粋)

# JR 伯備線の不通区間 あす運転再開

JR西日本米子支社は十五日、県西部地震によるがけ崩れで、先月二十八日から不通になっている伯備線根雨(日野町)―生山間(日南町)を十七日始発から平常ダイヤで運転再開すると発表した。

(11月16日 読売新聞抜粋)

# 米子線あす全面復旧

鳥取県内の一部区間で不通になっているJR伯備線の運転を、十七日始発から全線で再開するとJR西日本米子支社が十五日、発表した。

(11月16日 朝日新聞抜粋)

# 伯備線きょう全面復旧

JR西日本米子支社は、伯備線が十七日の始発列車から全面復旧すると発表した。伯備線は十月二十八日に黒坂―根雨間で土砂崩壊が発生して以来、復旧に手間取り、生山―根雨間でバス代行運転していた。

(11月17日 日経新聞抜粋)

鳥取西部地震などの土砂崩れで不通となっていた鳥取県日野町のJR伯備線生山―根雨間を十七日始発から開通するとJR西日本米子支社は十五日、発表した。同線の全線での運転再開は二十日ぶり。

# JR 伯備線 全線開通へ

地震で不通から復旧黒坂―根雨間で先月二十八日、線路わきの斜面から土砂約二百立方メートルが崩落。新たな亀裂も見つかり、JRでは本格的な復旧工事に着手。土砂約一万六千立方メートルを取り除き、線路わきに長さ九十メートル、高さ六メートルの鉄製さくを設置した。

(11月16日 産経新聞抜粋)

# きょう運行再開

伯備線、始発から

鳥取県西部地震の影響による土砂崩れで、同県内の一部区間で不通となっていたJR伯備線は復旧作業が十六日ほぼ終了し、十七日の始発から全線で運行が再開される。JR米子支社が発表した。

同線は、生山―根雨間が十月六日の地震による土砂崩れで不通となり、十月十日にいったん開通したものの、十月二十八日に同じ区間で土砂崩れが起きた。両区間は代替バスで運行していた。

(11月17日 山陰中央新報抜粋)

# 伯備線運行 きょう再開

JR

鳥取県西部地震の影響による土砂崩れで、同県内の一部区間で不通となっていたJR伯備線は復旧作業が十六日ほぼ終了し、十七日の始発から全線で運行が再開される。

同線は、生山―根雨間が十月六日の地震による土砂崩れで不通となり、十月十日にいったん開通したものの、十月二十八日に同じ区間で土砂崩れが起きた。

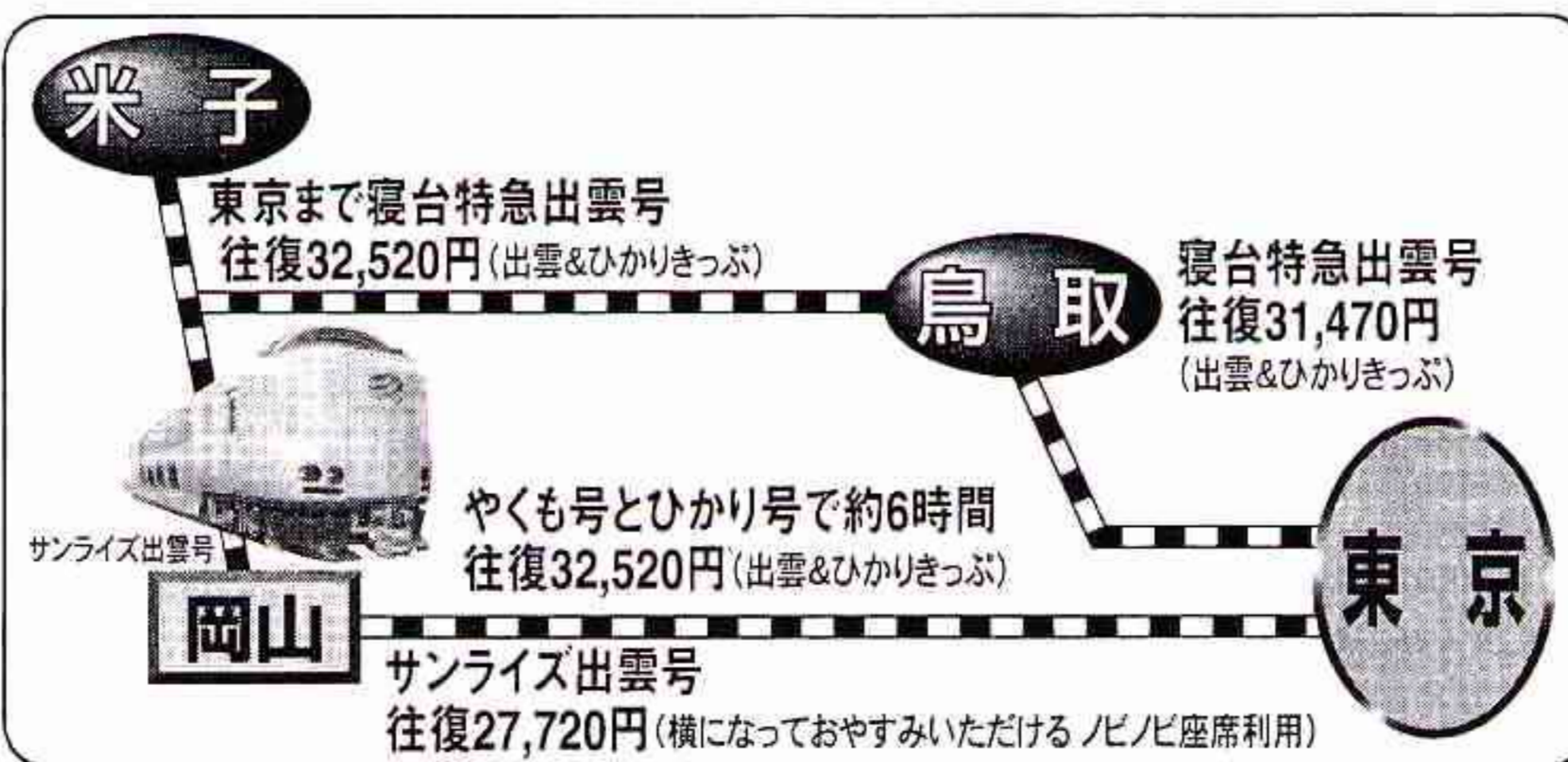
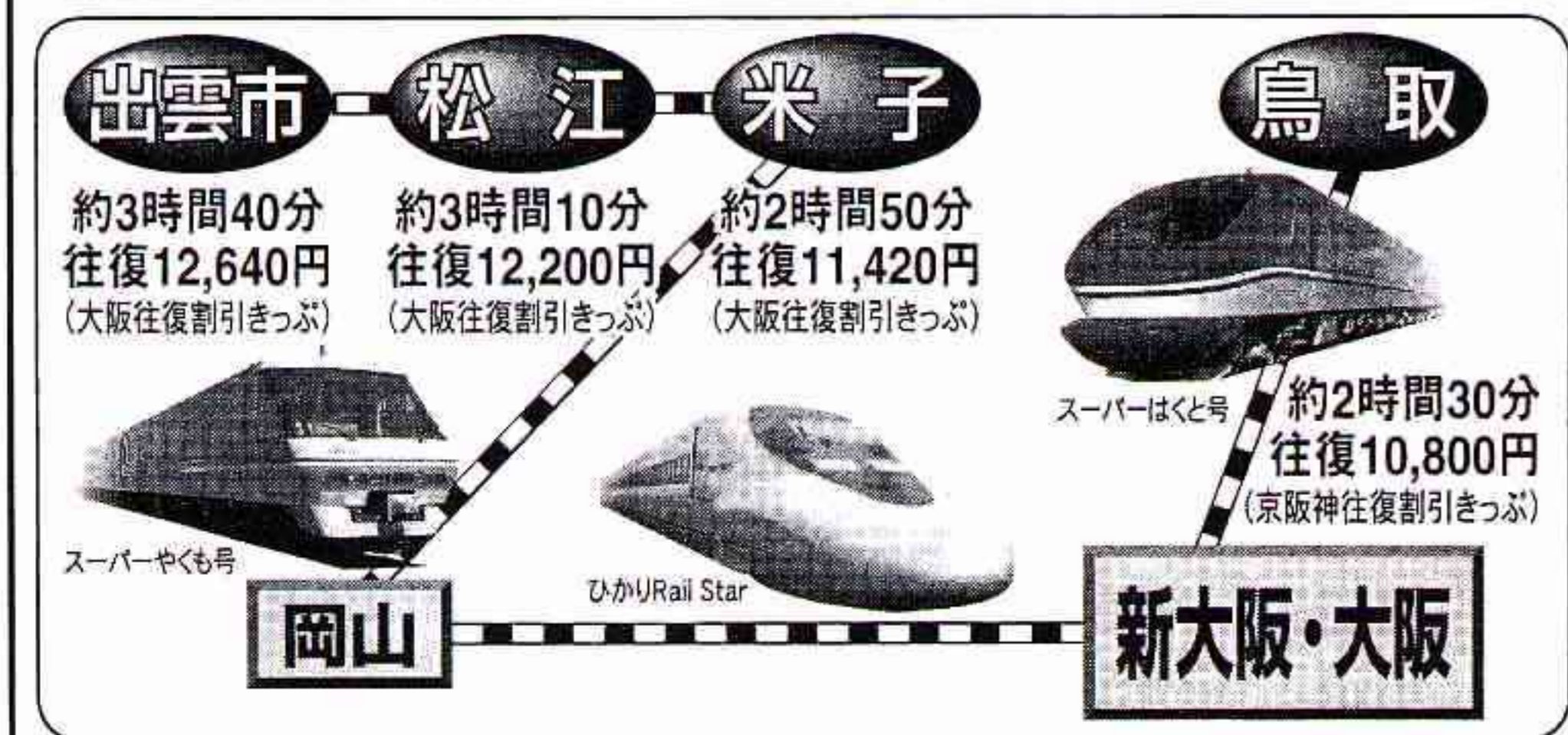
(11月17日 中国新聞抜粋)

# JRニュースファイル 伯備線は全線で運転再開しました JR米子支社

JR伯備線は、地震などによる土砂崩壊で、長い間、一部区間でのバス代替運行により、ご迷惑をお掛けしました。

## 伯備線は11月17日より、全線での運転を再開しました。

なお、鳥取県西部地震の復旧に際しましては、安全運行のために、万全を期する工事を行いました。あわせて、線路を整備し列車の加速・減速をスムーズにするなどにより、特急「スーパーやくも・やくも号」、寝台特急「サンライズ出雲」などの乗り心地を更に良くしてまいります。今後とも安全、正確で速く、快適な列車の運行に努めてまいりますので、ご利用のほど、よろしくお願いいたします。



旅は、これから。

### ジパング倶楽部

ジパング倶楽部は、男性が満65歳以上、女性は満60歳以上の方ならどなたでもご入会できる、おトクな旅のクラブです。ご入会の場合は、こちらが満65歳以上であればご一緒にご入会できます。

日本全国のJR運賃・料金が最高3割引に

ご入会のお申し込みは、手続きカンタン

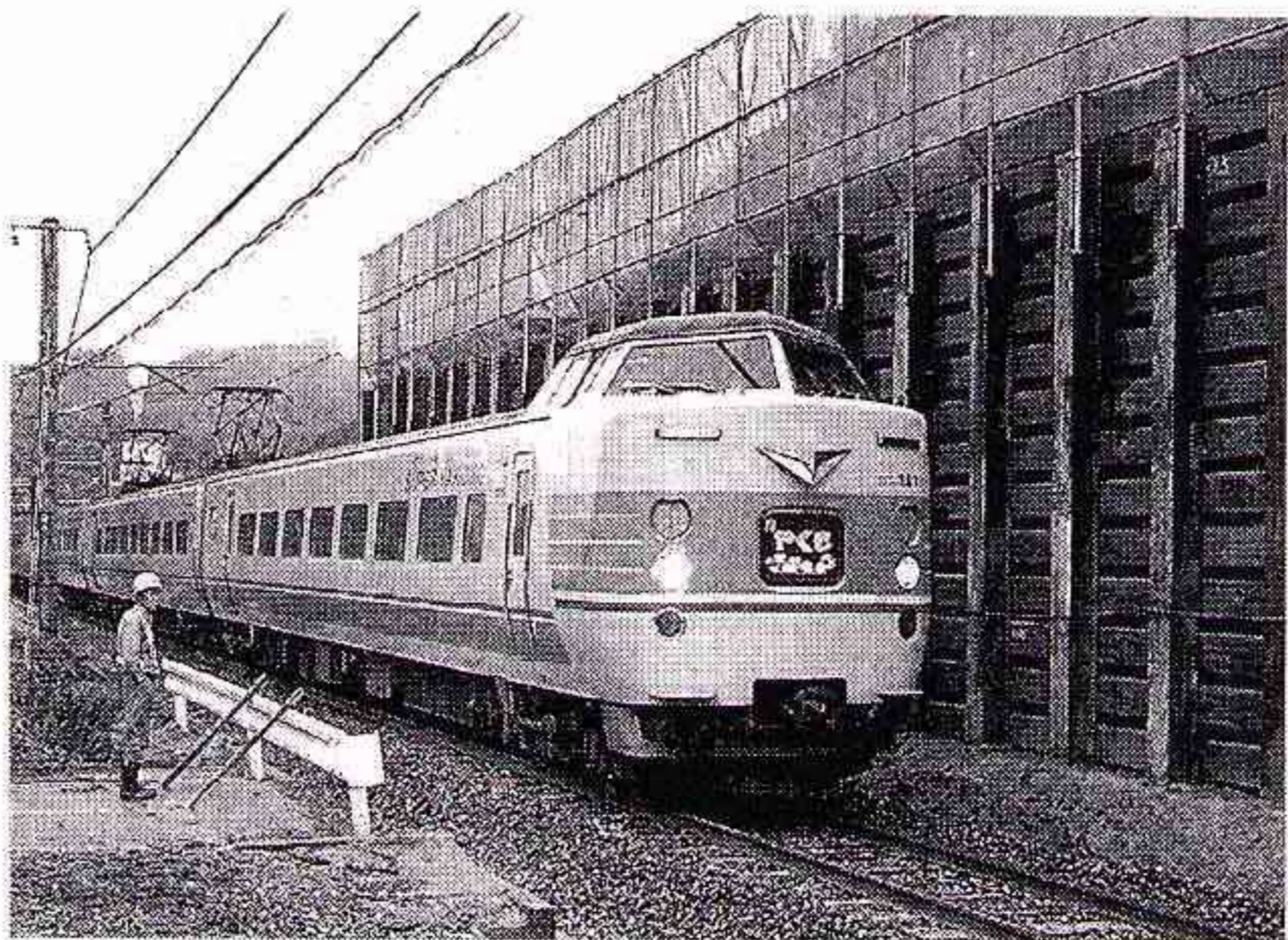
入会申込書を提出し、お近くの駅のJR窓口へお申し込みください。

お申し込み先 JR西日本米子支社運輸課(営業計画) TEL0859-32-8056

(11月18日 山陰中央新報抜粋)

# 伯備線が全面復旧 21日

不通区間となっていたJR伯備線根雨―生山間で、さ六六の土留めさくを設け、復旧工事がほぼ完了した。同日の始発から山陰と岡山を結ぶ全線の運転再開に踏み切った。数日中には、まだ残っている土砂を撤去する予定。これまで不通区間では、暫定方式の代替バスで特急スーパーやくも号、特急やくも号、寝台特急サンライズ出雲などを運行。通常ダイヤよりも一時間程度遅れていた。



土砂崩れ現場に設置された土留めさくの横を走る特急やくも3号＝17日午前10時13分ごろ、鳥取県日野町根妻

(11月18日 山陰中央新報抜粋)

## 伯備線 根雨―生山間復旧に安ど

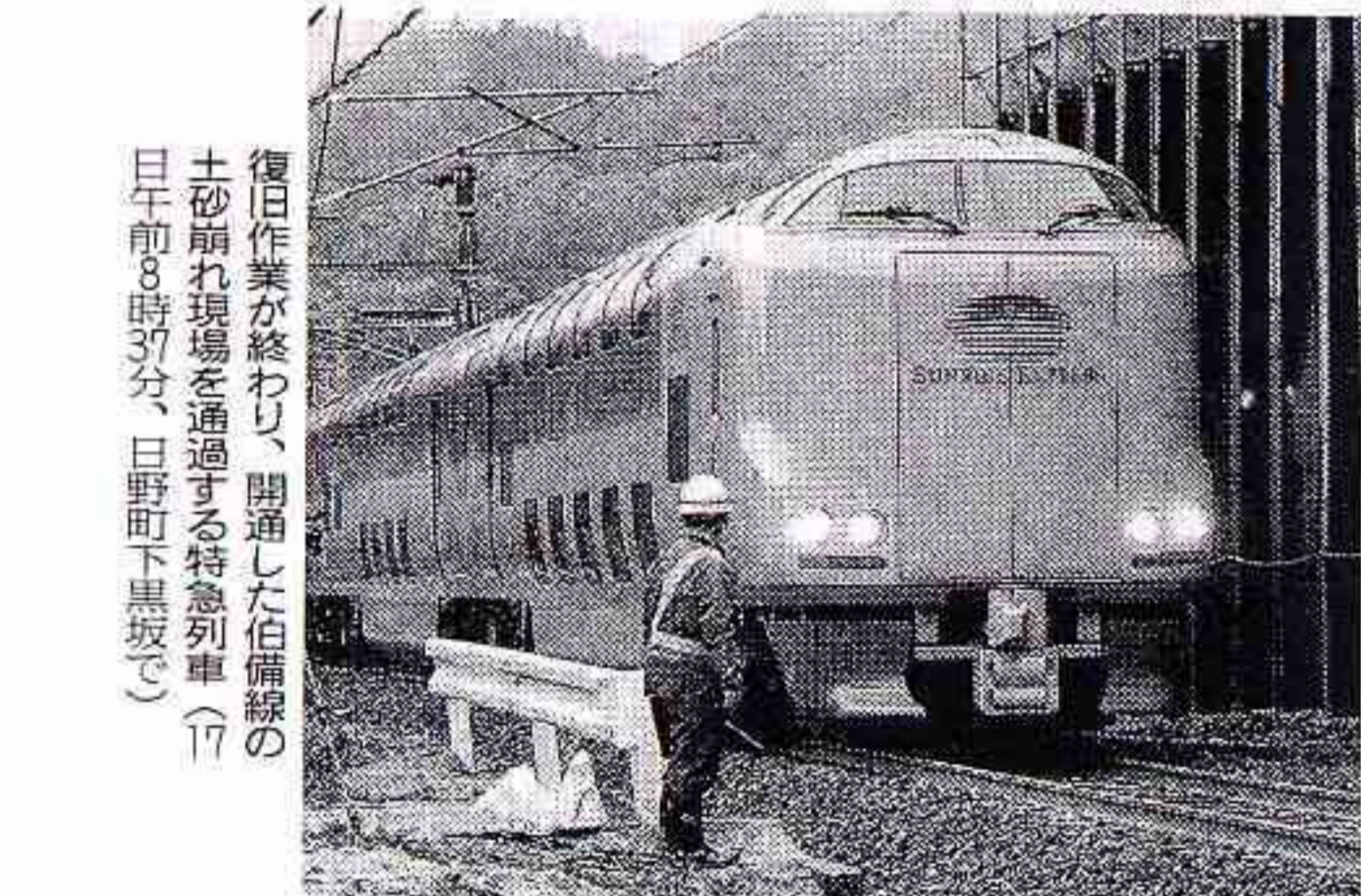
JR伯備線根雨―生山間が十七日の始発から運転再開。通過運行に「千日」に戻った。これまで長時間かかる代替バスを利用していた通学の高校生も通学の不安は、ほとんど表情を見せず、両駅のホームは久しぶりに活気が戻った。

JR西日本米子支社は、土留めさくを設けたことで、根雨―生山間の不通区間が復旧した。これまで不通区間では、暫定方式の代替バスで特急スーパーやくも号、特急やくも号、寝台特急サンライズ出雲などを運行。通常ダイヤよりも一時間程度遅れていた。

### 利用者ら明るい表情 駅のホームに活気戻る



伯備線が全面開通し、黒坂駅を利用する日野高・日野産高の生徒（17日午後3時）



復旧作業終了、開通した伯備線の土砂崩れ現場を通過する急行列車（17日午前8時37分、日野町黒坂）

(11月18日 読売新聞抜粋)



復旧工事を終えた土砂崩れ現場を通過する特急「やくも」 午後零時半、鳥取県日野町下黒坂

JR伯備線が20日ぶり復旧

鳥取県西部地震の影響による土砂崩れで、同県日野町内の一部区間で運転を見合わせていたJR伯備線の根雨―生山間が十七日、二十日ぶりに運転再開、全面復旧した。

同線は十月二十八日、地震の影響で地盤がゆるんでいた生山―根雨間のトンネル付近の山で計約二百立方メートルの土砂が崩壊。土砂の撤去を完了したところ、山の上部で約三十メートルにわたる亀裂が見つかったため、土砂の流入を防ぐべく設置するなどの作業を急ぎ、このほど終了した。

(11月18日 日経新聞抜粋)

JR伯備線復旧

鳥取県西部地震の余震の影響で土砂崩れが起き、先月二十八日から不通になっていたJR伯備線の根雨―生山間（同県日野町）―生山間（同県日野町）が十七日に復旧。始発の出雲市駅発岡山行き「特急スーパーやくも」から運転が再開され、通常運転に戻った。

(11月18日 読売新聞抜粋)

## JR伯備線 20日ぶり全線開通

鳥取県西部地震に伴う土砂崩れで生山（日野町）―根雨（日野町）間が不通となっていたJR伯備線が十七日、全線での運転再開に踏み切った。全線開通により、同区間を代替バスで連絡していた特急「スーパーやくも」や「サンライズ出雲」でも多くの人が山陰へ来てもらい、賑やかな一日も早い復興に役立ちたいとしている。

先月二十八日、日野町下黒坂の根妻トンネル付近で線路沿いの山の斜面が崩れ、土砂が線路内に流入。JR米子支社は現場の樹木を伐採し、崩壊した土砂を含む一万六千立方メートルの土砂を十六日までに撤去した。

この日は午前五時三十分に出雲市を出発した始発列車、岡山行きの特急「スーパーやくも」から平常通りのダイヤで運転。出張先の大阪から「やくも」で米子駅に帰って来た米子市の会社員「三好」は「行きは代替バスで大変だったが、直通だとやはり利便性が全然違う」と話していた。

JR米子支社は「伯備線の安全性を将来的に万全なものとするため、若干時間をかけて工事し、全線開通により『やくも』『サンライズ出雲』で多くの人が山陰へ来てもらい、賑やかな一日も早い復興に役立ちたいとしている。」

同支社は同日午後六時、二日分の設置していた復旧情報センターの情報が崩れ、土砂が線路内に流入。JR米子支社は現場

(11月18日 日本海新聞抜粋)



## あとがき

鳥取県西部地震は、鉄道施設をはじめ、観光客の減少など、山陰地域に様々な被害をもたらしました。しかし、一方では大規模災害への対応策や鉄道人としてのかけがえのない経験と誇りを刻み込んでくれました。

10月6日の震災発生から、相次ぐ余震と秋雨などによる土砂崩壊の復旧までに及ぶ42日間、鉄道人としての運転再開にかけた不眠不休の闘い。その後の完全復興の取り組みも、ほぼ完了することができました。

編集にあたっては、災害時の時々刻々と変化する状況に対して、どのような対応を図ったのかなどを可能な限りのデータを用いて編集しました。少しでも後世の教訓、対策にお役に立てればと思っております。

震災を克服し、復興対策への取り組みと平行して、「鳥取県西部地震災害記録誌編纂委員会」を設置し、データの集積と編集を行ってまいりました。編集にあたっては、報道機関をはじめ、多くの皆様にご協力をいただきましたことに改めてお礼を申し上げます。あわせて、委員会のメンバーや執筆に携っていただいた方々のご協力に敬意を表したいと思います。

本書の発行を機に、鉄道事業者として、最大の使命である「安全」につきまして、更に高める努力を行うとともに、鉄道が将来にわたって皆様から信頼され、選択され続ける交通機関とすべく、社員一同、力を尽くしてまいりたいと考えております。

平成13年10月

西日本旅客鉄道株式会社米子支社  
総務企画室長 渡部 忠治

## 鳥取県西部地震災害記録誌編纂委員会

委員長	総務企画室長	渡部 忠治
副委員長	安全対策室長	赤本 保廣 (前任)
		田子 整
	人事担当課長	井上 浩司 (前任)
委員		田路 耕一
	運輸課長	松岡 俊宏
	工務課長	榎原 茂 (前任)
		岡本 建吉
	経理担当課長	武下 志加一 (前任)
		神谷 敏夫
事務局	営業担当課長	石飛 克之 (前任)
		石原 亮一
	施設担当課長	江原 学
事務局	総務企画室課長代理	野間 直道 (前任)
		藤原 喜久雄
	広報担当	和田 昇司
		畑岡 真紀子



鳥取県西部地震（平成12年10月）鉄道復旧記録誌

---

平成13年10月発行

発行・編集

西日本旅客鉄道株式会社 米子支社  
米子市弥生町2番地  
電話（0859）32-0255

印刷・製本

島根印刷株式会社

---

